

2006年7月28日

関係各位

財団法人 日本サッカー協会

競技者の用具の正しい着用について

競技者が「ジャージまたはシャツ」(シャツ)の裾を出すことは、競技規則に規定されないものの、見た目に良い印象を与えるものでないことから、シャツの裾をパンツに中に入れてプレーしなければならないとしていました。しかしながら、2006年FIFAワールドカップにおいては、シャツの裾を出してプレーすることが見受けられ、競技者、審判員、その他関係者において、混乱が生じています。

については、日本においては、マナーあるユニフォーム着用の観点から、これまでどおり、「シャツの裾をパンツに中に入れてプレーしなければならない」といたします。また、この機会に、競技者の安全を確保するため、ストッキングはすね当てを完全に覆うよう、またひざ下まで上げて着用しなければならないことを改めて通知いたします。

これらについて、それぞれの協会、連盟などで、加盟クラブ、チーム、審判員などの関係者に周知徹底を図られるよう、お願いいたします。

以上